

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	267	
				会計	一般会計			
				事業区分	政策	実施区分	継続	
				開始	H11	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称				
	戦略計画							
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画				
	法令・例規等							
事業目的		対象	小、中学校（児童、生徒及び教員）、市民（親、地域の役員等）					
		意図	児童、生徒、市民が科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。					

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	・子どもたちを中心に、「科学の楽しさや不思議さ」を学ぶことで興味を持つことができるよう、おもしろ科学工房が行う活動を支援しました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、おもしろ科学工房スタッフによる理科実験ミュージアム等科学の楽しさに触れる機会を提供しました。		理科実験ミュージアム運営事業補助金				968				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	理科実験ミュージアム参加者数	人	2,000	2,517							
	出前工房参加者数	人	2,000	2,112							
	小中学校のクラブ支援事業参加者数	人	1,200	872							
3年度決算(千円)	予算額	1,050	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	968									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
	一般財源	968									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	1	10	4	1,050	968	科学実験教室推進事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・科学離れが進んでいると言われるなか、子どもたちを中心に科学の楽しさや不思議さを伝える活動は非常に大切です。新型コロナウイルス感染症拡大により中止することもありましたが、感染症対策を講じて事業を実施し、前年度に比べて来場者数が増加しました。 ・この活動を担っているスタッフが固定化しており、活動継続のためには新たな人材の確保が必要です。								
上記の課題解決のための有効策		・コロナ禍であっても科学の楽しさを伝える活動が継続できるよう、感染症対策を徹底して実施していきます。 ・人材確保では、おもしろ科学工房の活動について情報発信し、ボランティアとして活動に参加してもらえる機会を提供していきます。								
次年度に向けての取り組み		・おもしろ科学工房の活動を支援し、理科実験ミュージアムなど科学の楽しさや不思議さに触れる機会を提供します。 ・活動の内容を伝えながら、地域の高校や企業、市民を対象にしてボランティアスタッフの募集を行います。								